

令和2年4月

令和2年	1月～	3月期	実績
令和2年	4月～	6月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

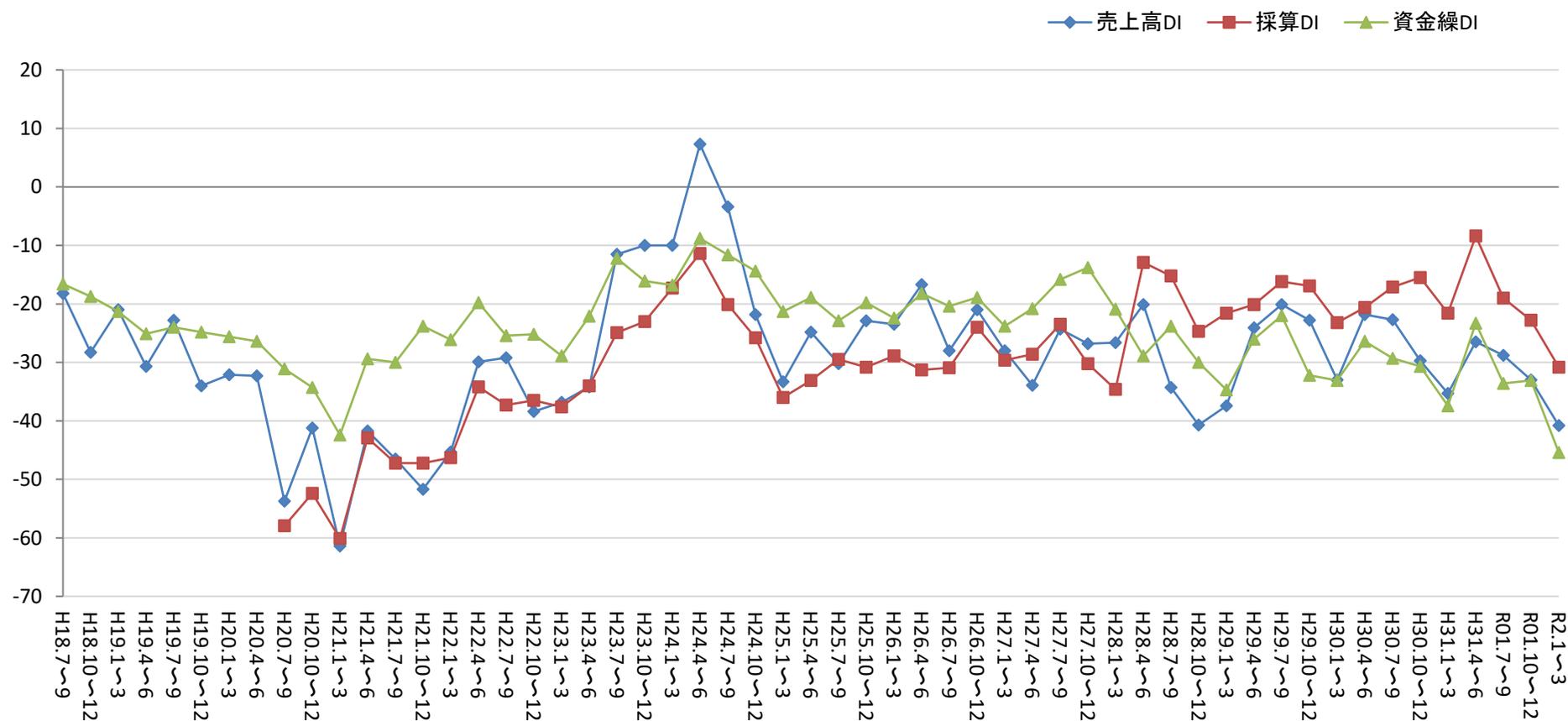
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成30年			平成31年		令和元年		令和2年	(見通し)
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
製 造 業	 薄 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨
建 設 業	 雨	 曇	 雨	 曇	 薄 曇	 雨	 雨	 薄 曇	 雨
小 売 業	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

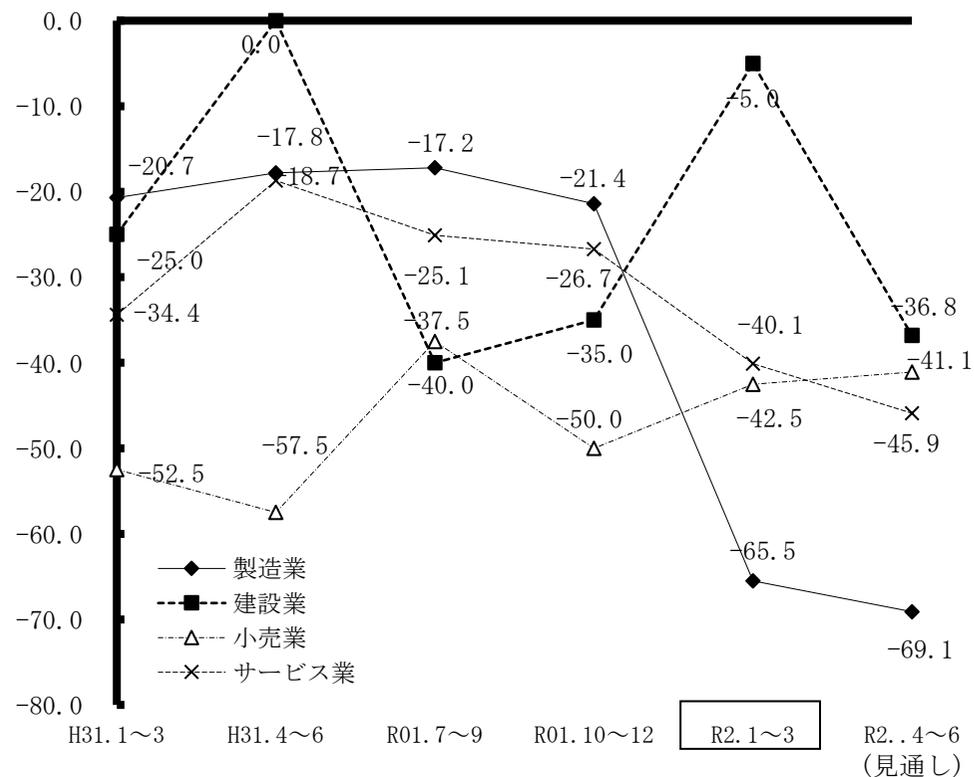
売上高

建設業、小売業が上昇 製造業、サービス業が低下

今期は、前期上昇に転じていた建設業が今期も引き続き上昇し、30.0ポイントと、大きく増加して△5.0まで改善しました。小売業も上昇に転じ、7.5ポイント増加して△42.5となりマイナス幅を縮小しています。

また、前期小幅に低下していた製造業は今期は大幅に低下し、44.1ポイント減少の△65.5となりマイナス幅を大きく拡大しています。サービス業は3期連続の低下となり△40.1まで悪化しました。

来期は、小売業が今期に引き続き上昇する一方、今期大きく上昇した建設業が大幅な低下に転じ、また、製造業、サービス業も今期に引き続き低下するものと見込まれています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

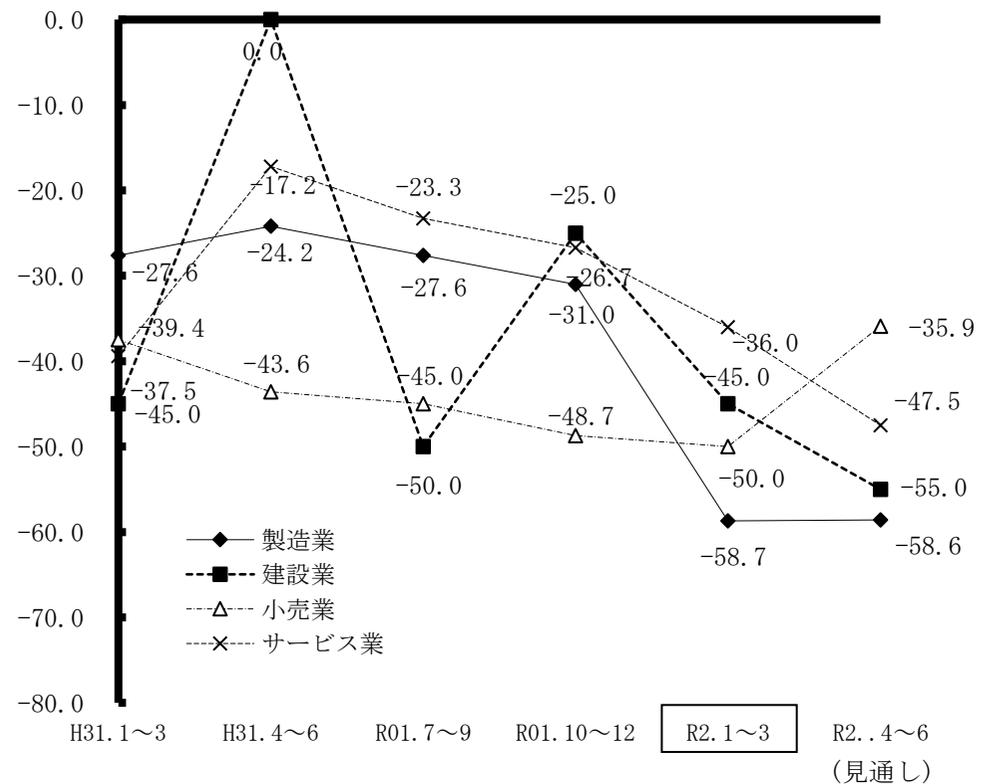
採算

**全業種において採算D・Iが低下
製造業、建設業は大幅に低下**

今期の採算D・Iは全業種が低下しました。特に製造業が27.7ポイントの大幅な減少となり△58.7まで悪化しました。建設業も20.0ポイント減少して△45.0まで悪化、サービス業は3期連続の低下となり9.3ポイント減少の△36.0、小売業も4期連続の低下となり△50.0まで悪化しています。

来期は、小売業において大幅な改善が見込まれるものの、製造業が横ばい、サービス業、建設業においては今期に引き続き悪化するものと予想されています。

※採算は各業種とも経常利益



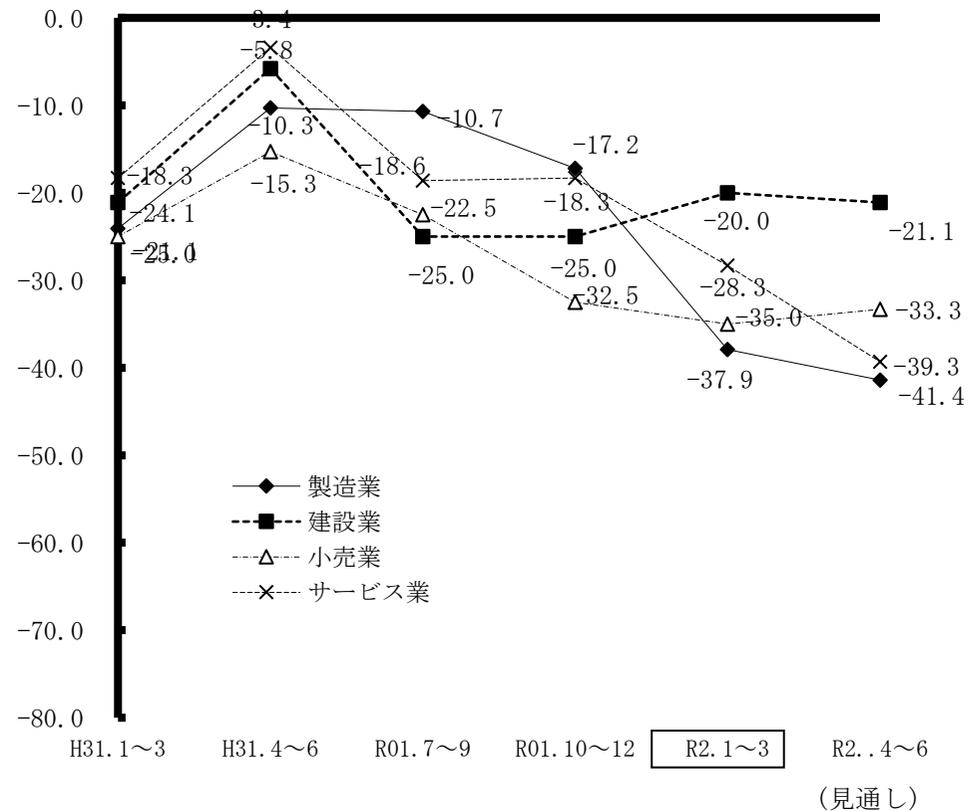
全産業の推移

資金繰り

**建設業が改善
製造業、小売業、サービス業が悪化**

今期は、建設業が5.0ポイント増加して△20.0まで改善しました。他方、製造業が20.7ポイント減少して△37.9まで悪化しました。また、サービス業は3期連続低下して△28.3、小売業も3期連続の低下により△35.0まで悪化しています。

来期は、サービス業、製造業は今期に引き続き低下が見込まれますが、建設業がほぼ横ばい、小売業においては改善することが予想されています。



製造業の推移

売上高

<今 期>

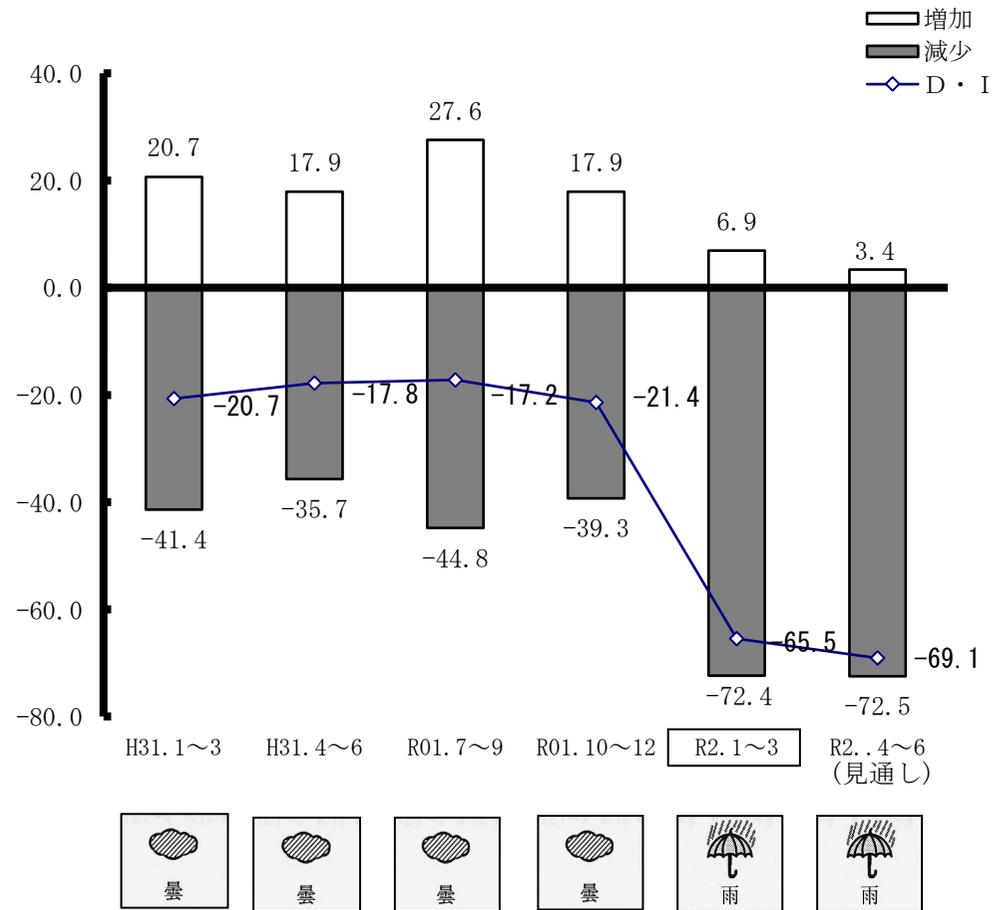


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が減少し、売上高減少企業の割合が大きく増加したため、売上高D・Iは44.1ポイントの大幅な減少となり、△65.5まで低下しました。景況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が減少する一方、売上高の減少を予想する企業割合がほぼ横ばいとなると見込まれることから、売上高D・Iは今期に引き続き低下することが予想されています。



製造業の推移

採算

<今 期>

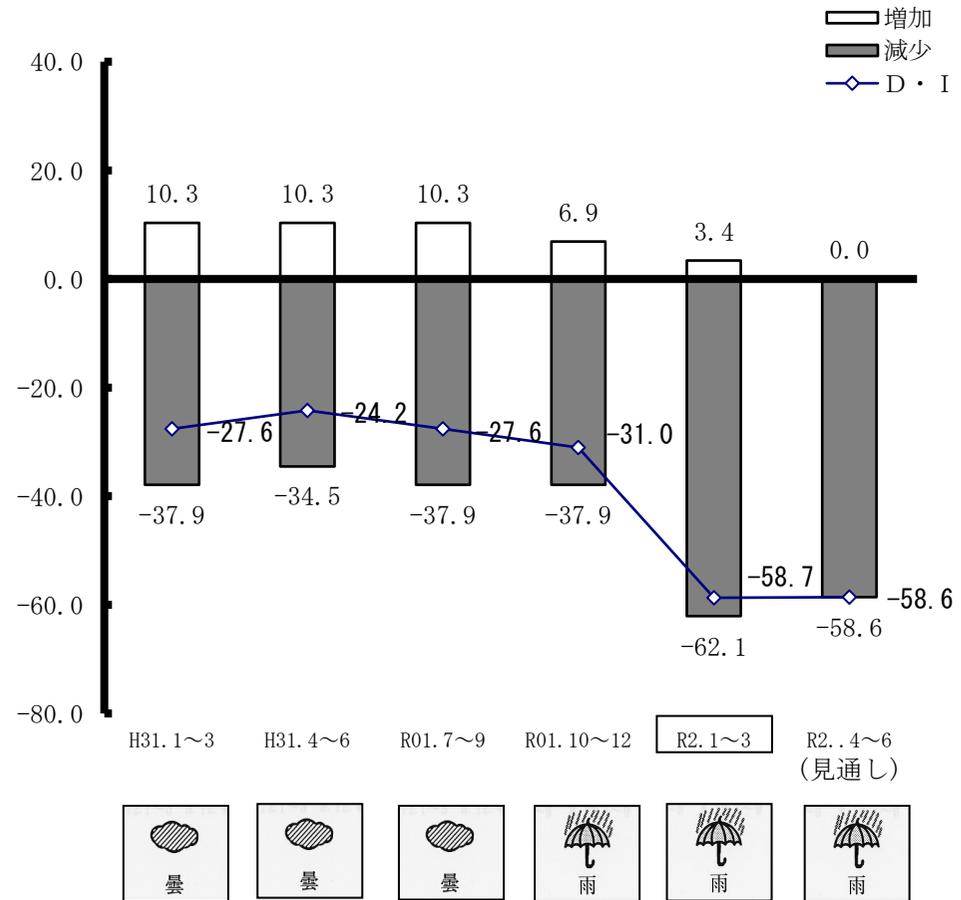


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が前期に引き続き減少し、採算が悪化した企業の割合が大幅に増加したため、採算D・Iは27.7ポイント減少して△58.7となり、大幅な悪化となりました。

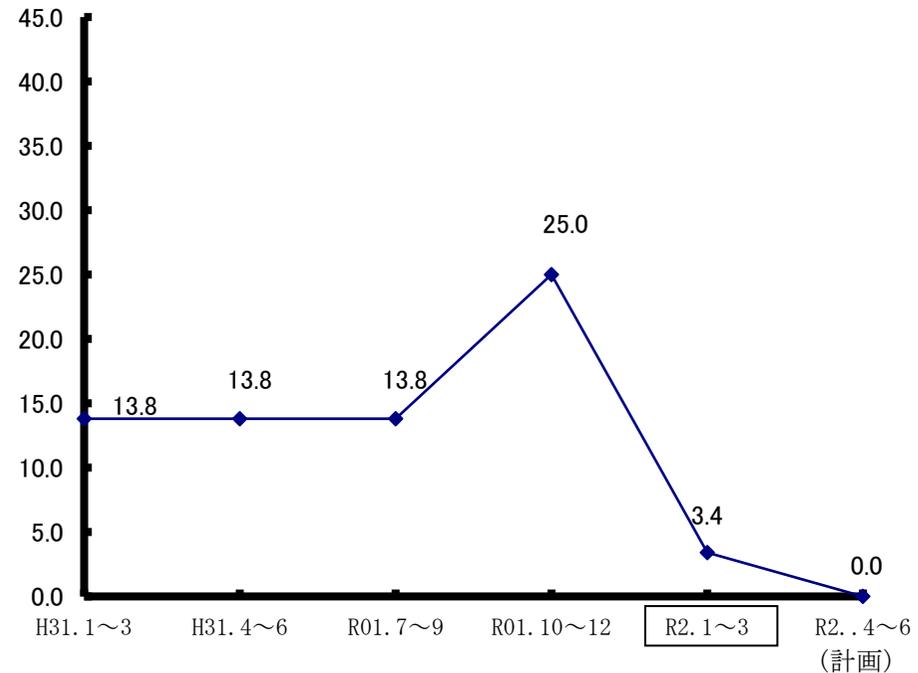
来期は、採算の改善を予想する企業が引き続き減少してゼロとなる一方、採算の悪化を予想する企業割合が小幅ながら減少すると見込まれることから、採算D・Iは横ばいとなる見通しです。



設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は21.6ポイントの大幅な減少となり、3.4まで低下しています。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は引き続き減少し、0.0まで低下する見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

経営上の問題点

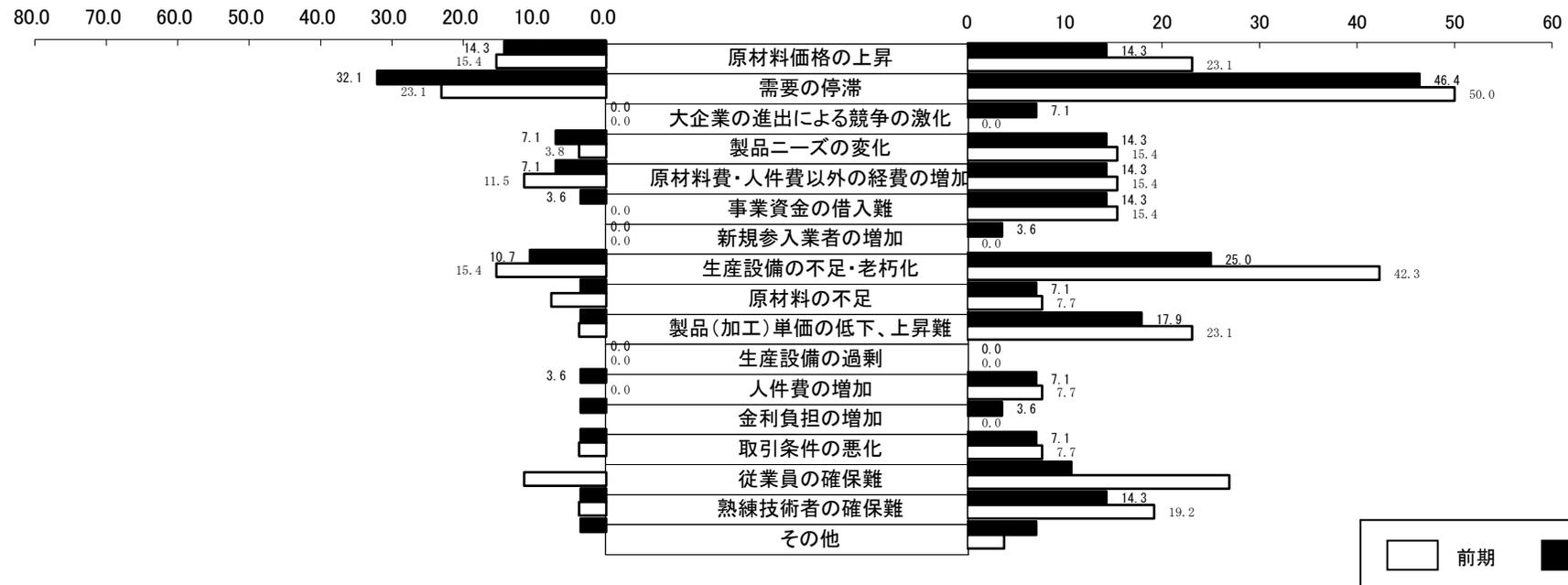
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



建設業の推移

売上高

<今 期>



薄曇

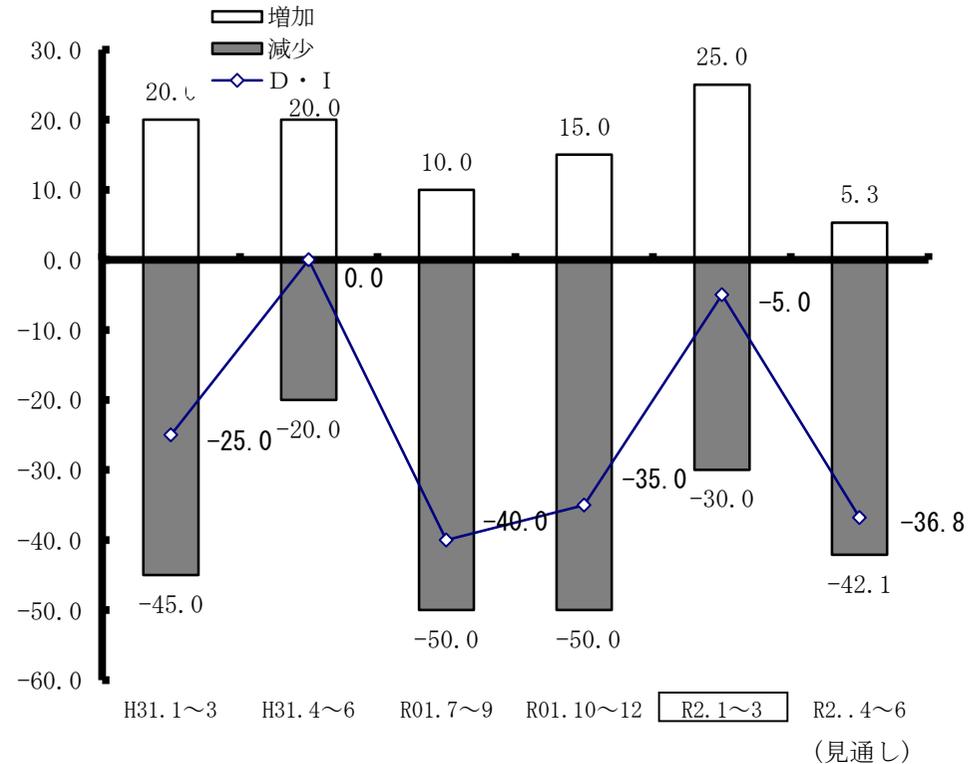
<来期見通し>



雨

今期は、売上高が増加した企業割合が10.0ポイント増加し、売上高が減少した企業割合も20.0ポイント減少したことにより、売上高D・Iは大幅に上昇してマイナス幅を大きく縮小し、△5.0まで改善しました。景況天気図も雨から薄曇りへと変化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少し、売上高の減少を予想する企業の割合も増加すると見込まれるため、売上高D・Iは再び悪化することが予想されています。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

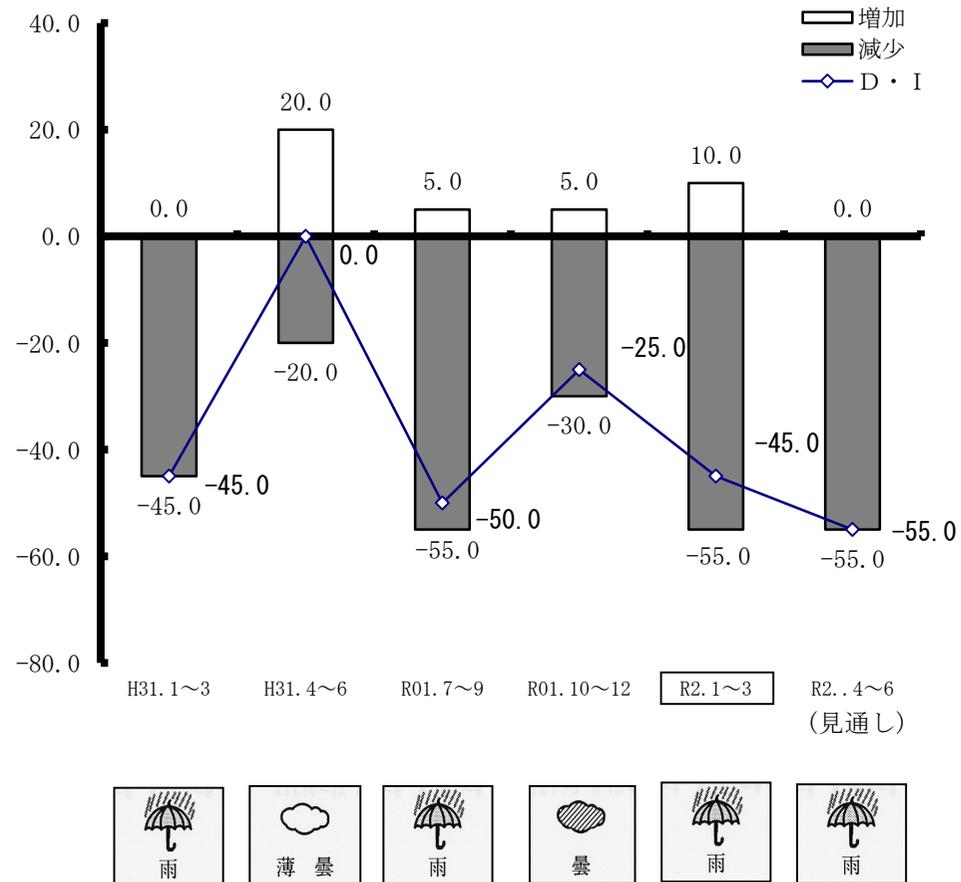


<来期見通し>



今期は、採算の好転を挙げた企業の割合は5.0ポイント増加したものの、採算が悪化した企業の割合が25.0ポイント増加したため、採算D・Iは20.0ポイントの大幅な低下となり、△45.0まで悪化しました。景況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業が減少して0.0となり、採算の悪化を予想する企業割合横ばいとなることから、採算D・Iは更に悪化する見通しです。



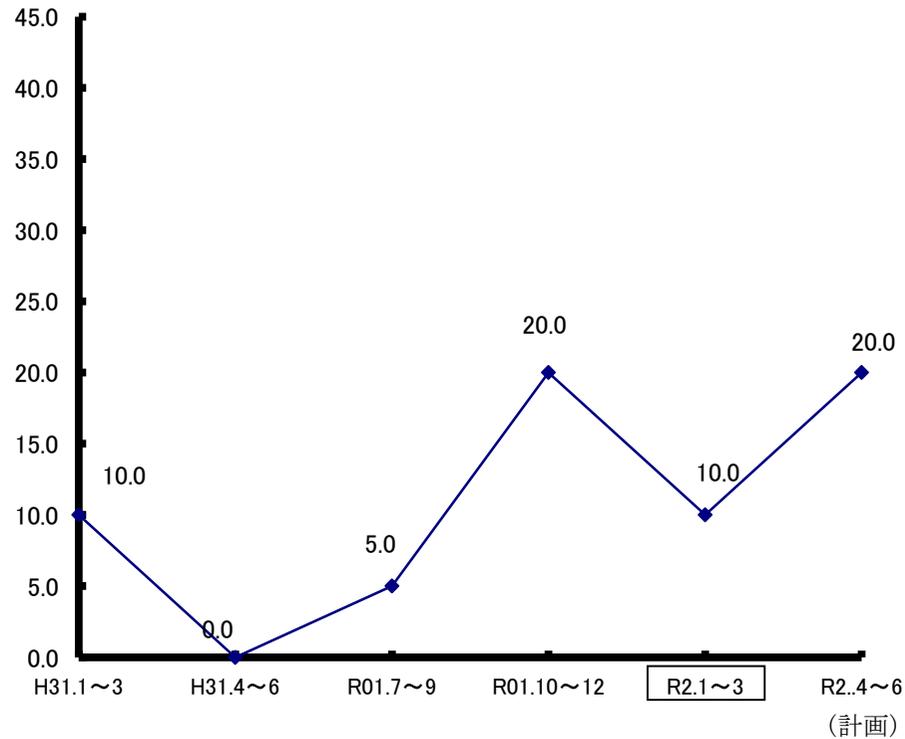
建設業の推移

設備投資

前期大幅に増加していた建設業における設備投資実施企業数の割合は、今期は減少に転じ、10.0にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は再び増加することが見込まれ、20.0まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

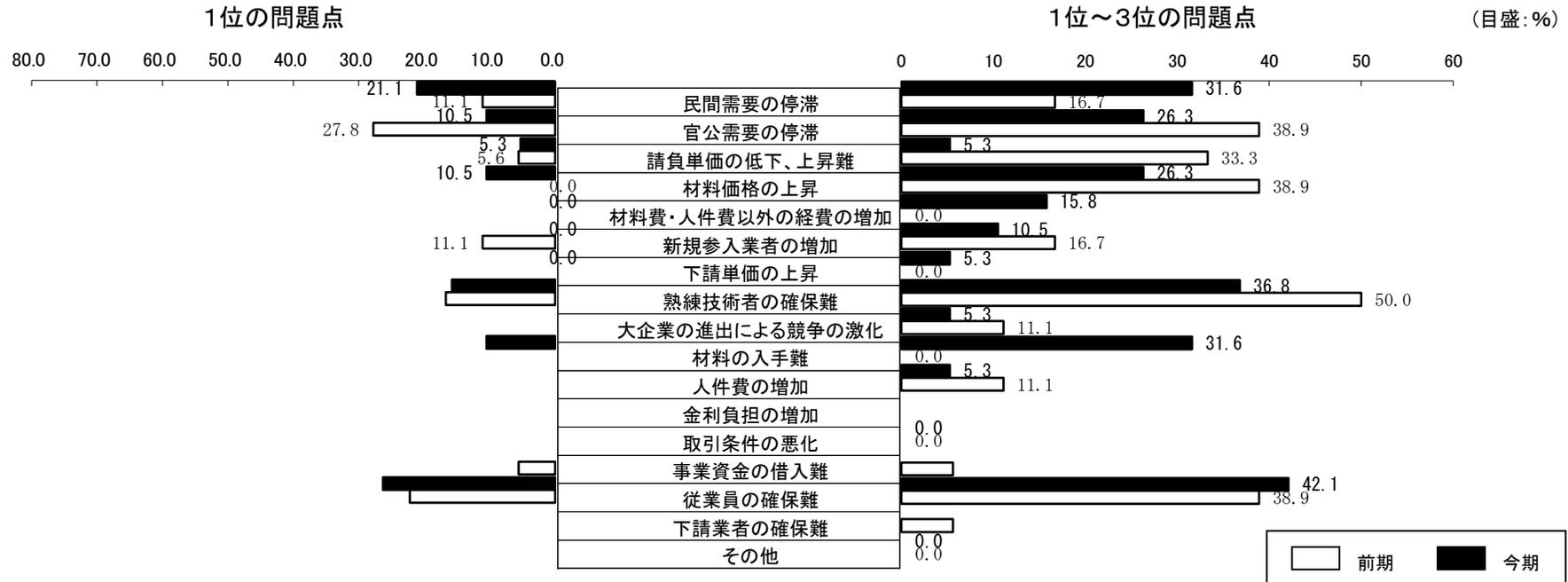


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

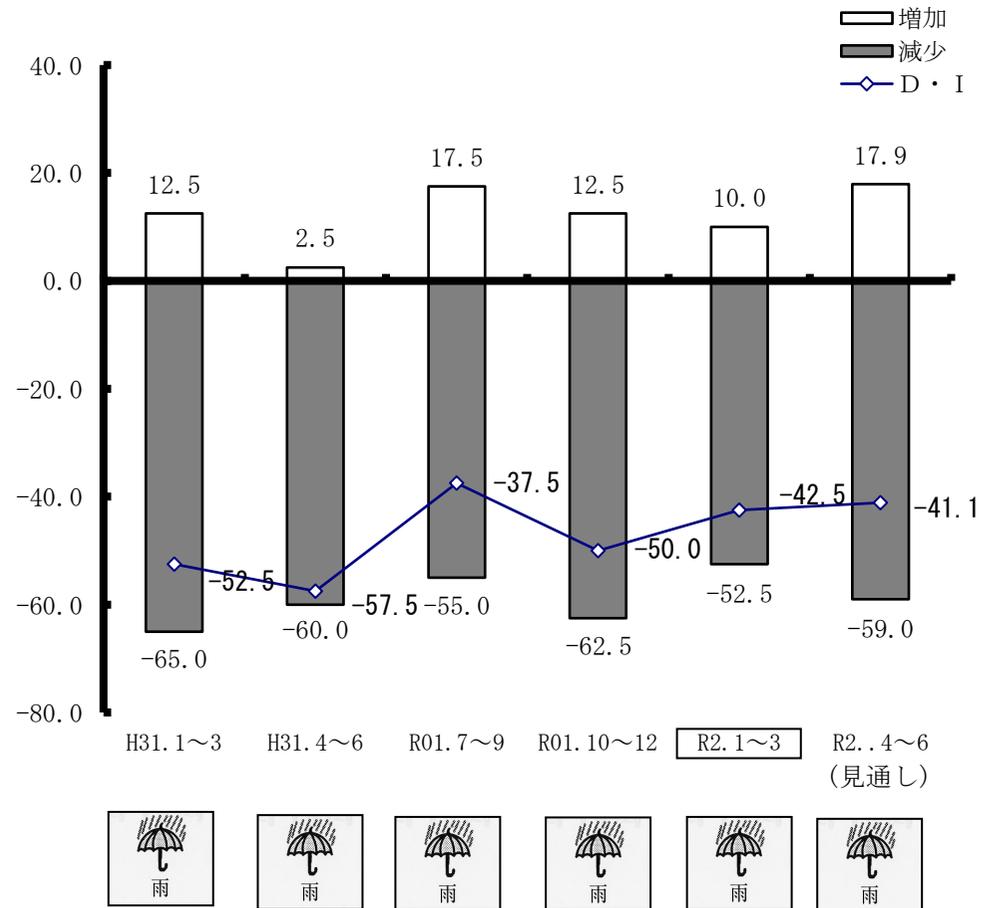


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が減少したものの、売上高減少企業の割合も減少となったことから、売上高D・Iは7.5ポイント増加して、△42.5まで上昇しています。

来期は、売上高増加を予想する企業割合が増加するものの、売上高減少を予想する企業割合も増加するため、売上高D・Iは僅かに悪化する見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

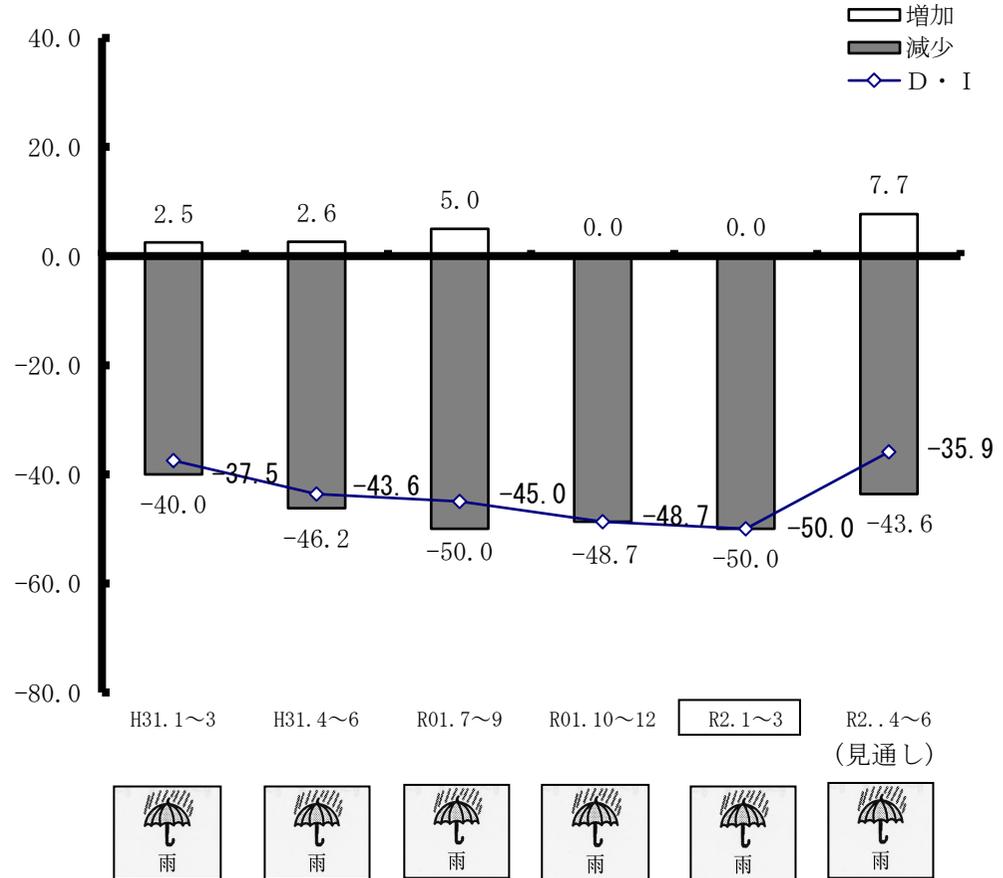


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合が0.0にとどまり、採算が悪化した企業割合が、1.3ポイント増加したため、採算D・Iは低下し、△50.0まで悪化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が増加し、採算の悪化を予想する企業割合が減少するため採算D・Iは上昇に転じ、△35.9まで改善する見通しです。

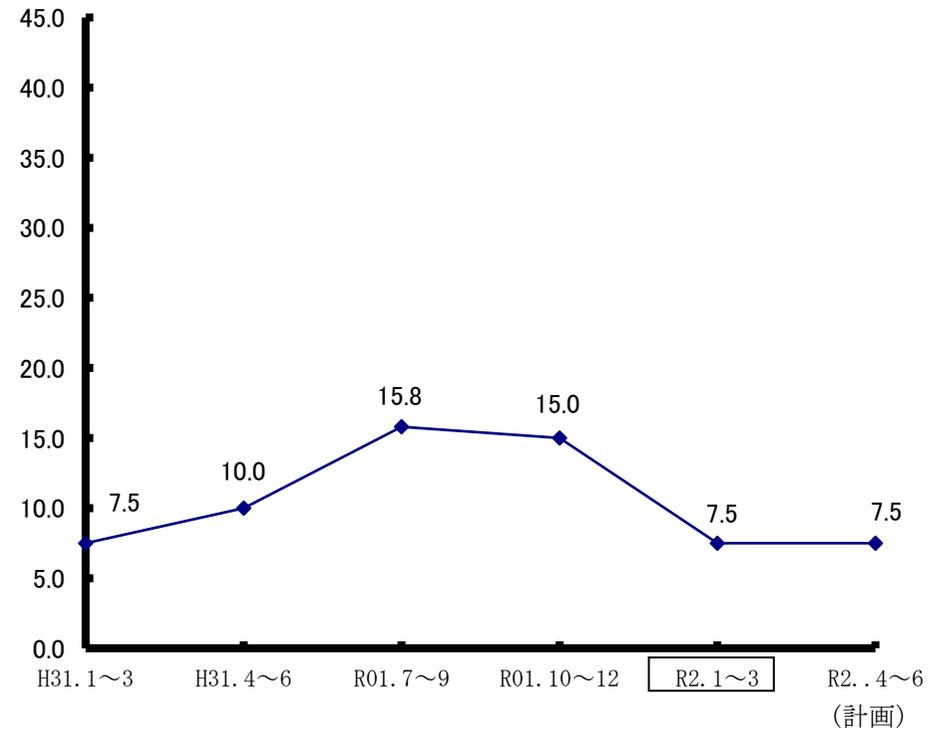


設 備 投 資

今期、設備投資を実施した企業数の割合は前期に引き続き低下し、8.0ポイント減少し低下して7.5にとどまりました。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は今期と同じレベルにとどまる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



小売業の推移

経営上の問題点

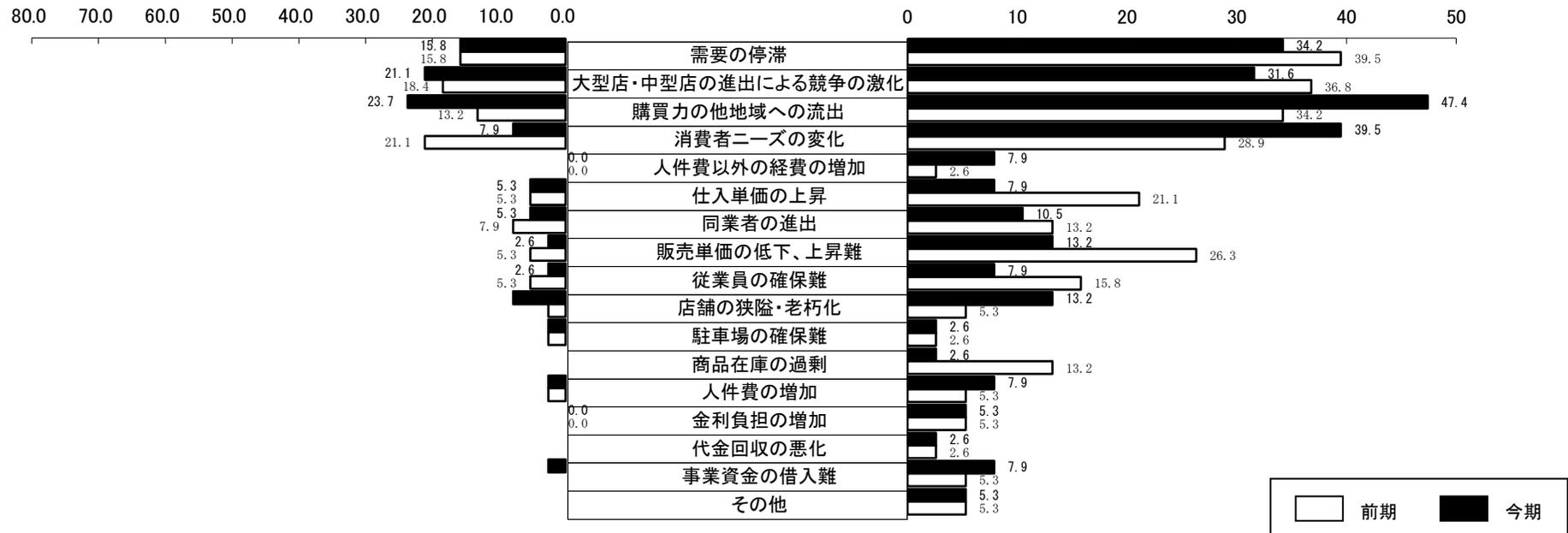
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

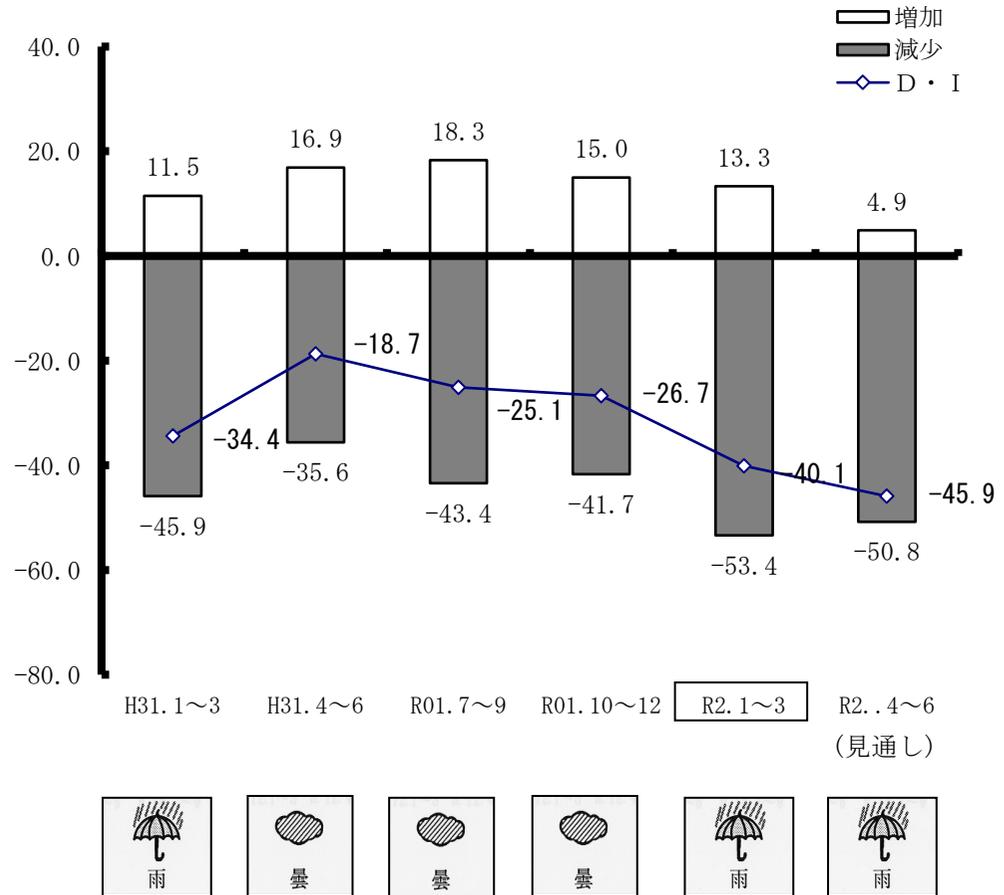


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が小幅な減少にとどまったものの、売上高減少企業の割合が11.7ポイント増加したため、売上高D・Iは13.4ポイント減少してマイナス幅を拡大し、△40.1まで低下しました。景況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期は、売上高減少を予想する企業割合は減少するものの、売上高増加を予想する企業割合の減少幅がこれを上回るため、売上高D・Iは引き続き低下し、△45.9まで悪化する見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

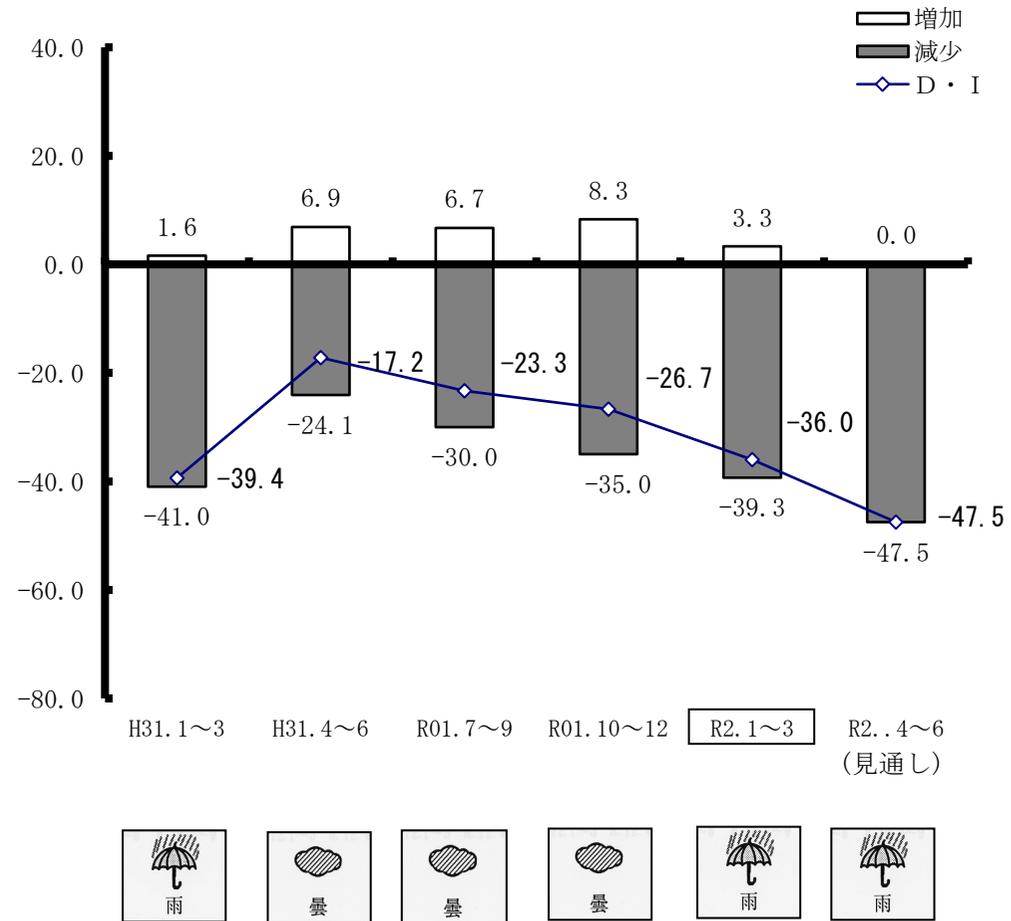


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が5.0ポイント減少し、採算が悪化した企業割合が4.3ポイント増加したことから、採算D・Iは9.3ポイントの減少となり、△36.0まで悪化し、3期連続の悪化となりました。景況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合はゼロとなり、採算の悪化を予想する企業割合も増加することから、採算D・Iは更に悪化する見通しです。

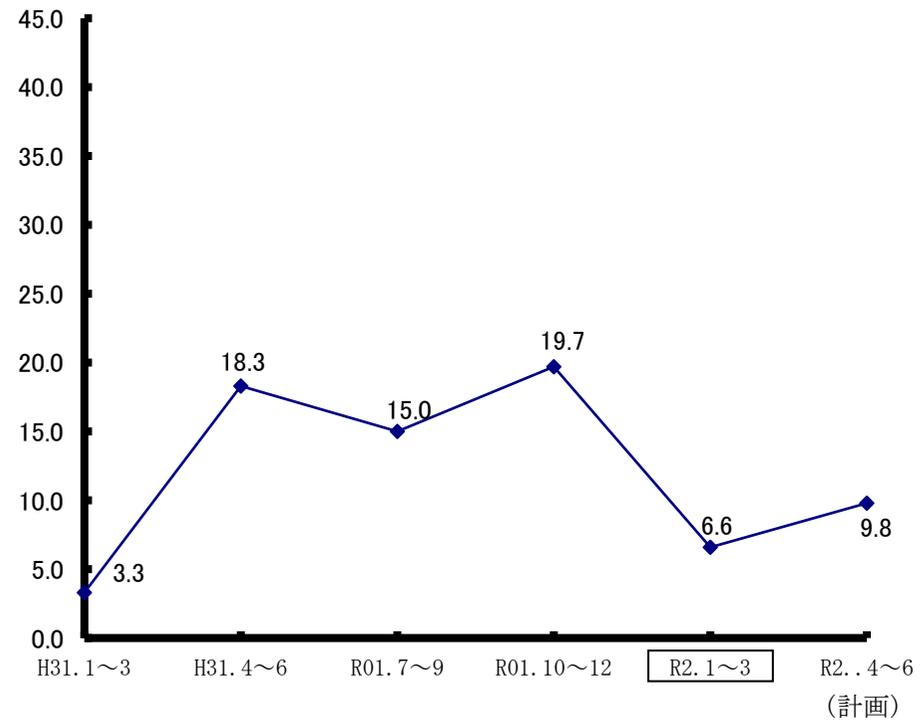


設備投資

前期、19.7まで増加していた設備投資を実施した企業数の割合は、今期は大きく減少し、6.6にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は再び増加に転じ、9.8まで増加する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

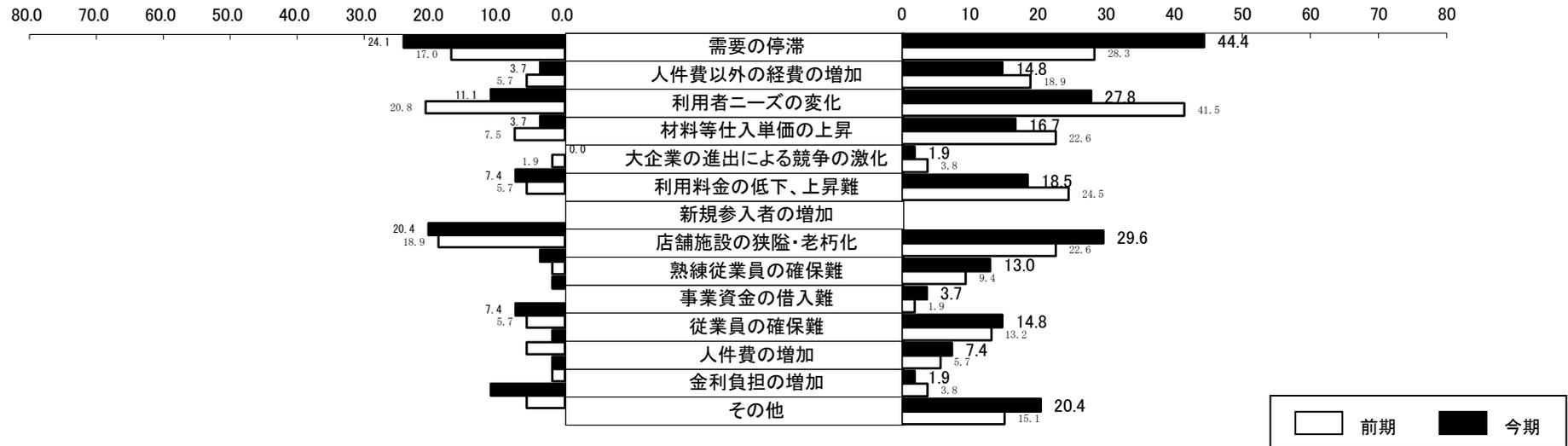
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

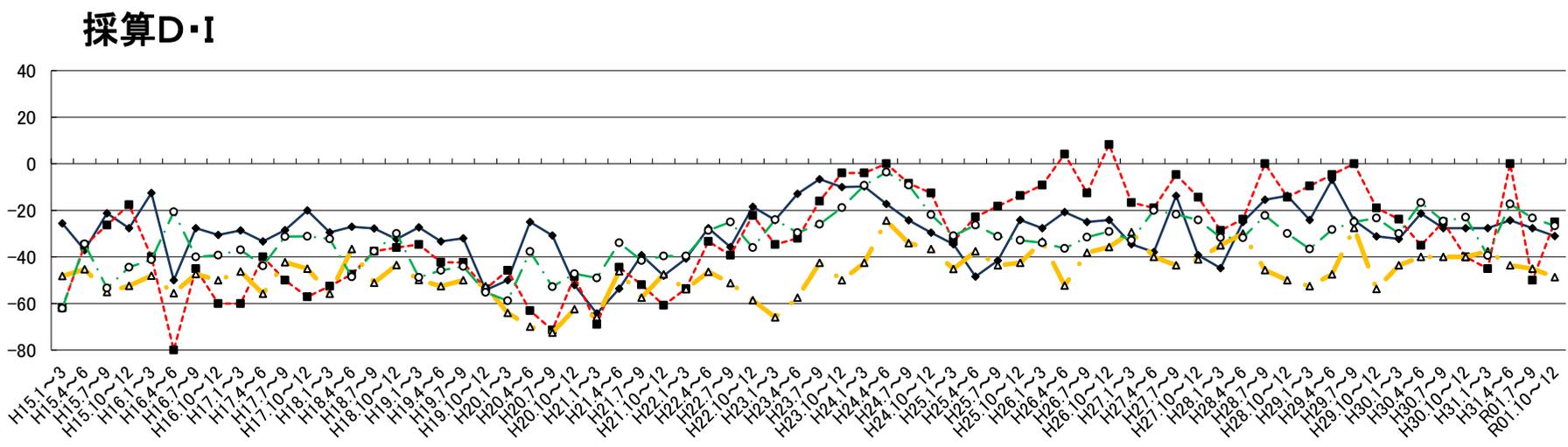
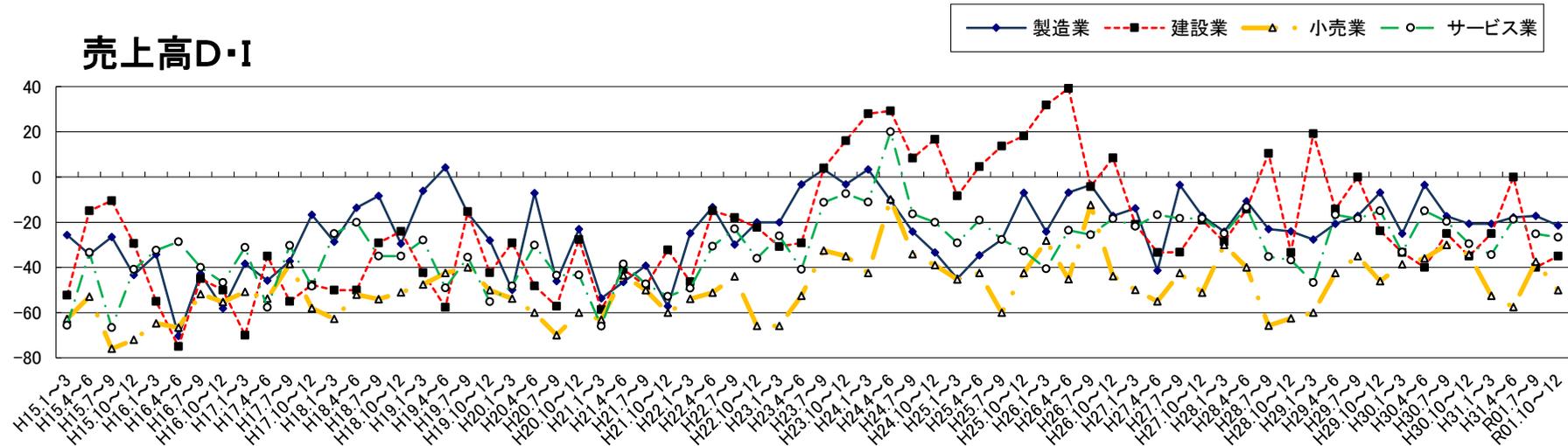
1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 二戸市、雫石、岩手町、滝沢市、前沢
(商工会名) 金ヶ崎町、山田町、田野畑村、普代、九戸村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 令和元年10月～12月を対象とし、調査時点は令和元年11月15日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建設業		20 (13.3)	20 (13.3)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サービス業		61 (40.7)	61 (40.7)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。